

臥薪嘗胆

① 呉王闔廬伍員を挙げて国事を謀らしむ。

② 員字は子胥。

③ 楚人伍奢の子なり。

④ 奢誅せられて呉に奔り、呉の兵を以ゐて郢に入る。

⑤ 呉越を伐ち、闔廬傷つきて死す。

⑥ 子の夫差立つ。

⑦ 子胥復た之に事ふ。

⑧ 夫差讎を復せんと志し、朝夕薪中に臥し、出入するに人をして呼ばしめて曰はく、「夫差、而越人の而の父を殺せるを忘れたるか。」と。

⑨ 周の敬王の二十六年、夫差越を夫椒に敗る。

⑩ 越王句踐、余兵を以ゐて会稽山に棲み、臣と為り、妻は妾と為らんと請ふ。

⑪ 子胥言ふ、「不可なり。」と。

⑫ 太宰伯嚭越の賂を受け、夫差に説きて越を赦さしむ。

⑬ 句踐国に反り、胆を坐臥に懸け、即ち胆を仰ぎ之を嘗めて曰はく、「女会稽の恥を忘れたるか。」と。

⑭ 国政を挙げて大夫種に属し、而して范蠡と兵を治め、呉を謀るを事とす。

⑮ 太宰嚭子胥謀の用ゐられざるを恥ぢて怨望すと譖す。

⑯ 夫差乃ち子胥に属鏤の劍を賜ふ。

⑰ 子胥其の家人に告げて曰はく、「必ず吾が墓に櫓を樹ゑよ。」

⑱ 櫓は材とすべきなり。

⑲ 吾が目を抉りて、東門に懸けよ。

⑳ 以つて越兵の呉を滅ぼすを觀ん。」と。

・乃ち自剄す。

・夫差其の尸を取り、盛るに鴟夷を以つてし、之を江に投ず。

・呉人之を憐れみ、祠を江上に立て、命けて胥山と曰ふ。

・越、十年生聚し、十年教訓す。

・周の元王の四年、越呉を伐つ。

・呉三たび戦ひ三たび北ぐ。

・夫差姑蘇に上り、亦成を越に請ふ。

・范蠡可かず。

・夫差曰はく、「吾以つて子胥を見る無し。」と。

・幘冒を為りて乃ち死す。